

基本事業コード	09010001	担当課所名	吉田総合支所市民福祉課
基本事業名	吉田総合支所市民福祉事務		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	7	互いに助けあう「協働のまち」
	政策	3	誰からも信頼される市役所づくり
	施策	-	-
			総合振興計画 - ページ

**基本事業の概要** 主に吉田総合支所管内在住の市民及び近隣の市民に対し、本庁の市長室、総務部、財務部、市民部、健康福祉部等で行っている行政サービスの一部を提供して、本庁まで訪れなくても用事が済むように利便性を高める。さらに、住民と身近に接することの中から信頼関係を築き、住民との協働によるまちづくりや、吉田地域の特色を生かした地域づくりを推進する。また、本庁各部署と連携して事務の効率化を図る。

**対象** (主に) 吉田総合支所管内在住の市民 / 吉田総合支所職員  
**意図** (対象をどのようにしたいか) 地域に密着した行政サービスを提供する / 効率的に事務を進められるようにする

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
地域密着サービスを行うべきと判断し事務数に占める実務数の割合	実務数 / 吉田総務課で所管すべき事務数	%	100	100	100	100	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標				単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			24年度			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	目標値(上段) 実績値(下段)			
01	本庁総務関係共同事務	指標	-	-	-		B	
			0	0	0		維持 拡充	
02	本庁市民福祉関係共同事務	指標	-	-	-		A	○
			0	0	0		維持 維持	
03	会館維持管理事業	指標	吉田振興会館・やまなみ会館利用者	18,000		人	B	
			20,830,385	7,603,918	5,672,000		15,857	維持 拡充
04	集会所・生活改善センター等管理事業	指標	貸付地区数	14		施設	B	
			3,318,625	1,498,745	714,000		14	維持 拡充
05	集落活性化対策事業	指標	集落支援員活動回数	50		回数	A	
			289,961	184,547	511,000		52	維持 維持
06	★ 吉田・大田地区乗合タクシー運行事業	指標	年間延べ利用者数	1,200		人	A	◎
			5,624,000	5,805,000	5,820,000		1,195	維持 維持
07	吉田総合支所庁舎管理事業	指標	庁舎管理不備による事故件数	0		件	B	
			19,516,858	18,493,215	19,318,000		0	維持 拡充
08	タイ王国ヤソトン市姉妹都市交流事業	指標	交流団派遣者数及び来秩者数	73		人	A	○
			0	0	0		94	維持 維持
09	地域生活環境整備事業	指標	実施事業数 / 各地区からの要望事業数	100		%	A	
			2,535,249	2,982,000	3,000,000		100	維持 維持
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		57,733,000	40,532,000	
事業費の合計(円) (A)		52,115,078	36,567,425	35,035,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定			
	一般財源	52,115,078	36,567,425	35,035,000
正規職員	業務量	14.00人	12.00人	
	人件費(B)	83,191,584	72,246,012	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	0.00人	1.75人	
	人件費	0	3,438,192	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		135,306,662	108,813,437	

**【重点化欄】**

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	市民福祉課は、市民部及び健康福祉部等と連携し業務を行っている。その他、ミニデイサービス事業や乗合タクシー事業、タイ王国ヤソトン市との国際交流事業等も所管し、吉田総合支所庁舎、庁用車、土地等の財産管理業務のほか吉田総合支所職員の庶務及び吉田取方体育館等スポーツ施設を管理している。また、会計事務と市税徴収のほか、使用料等の收受等がある。民生・児童委員や吉田交通安全母の会、シェーン吉田の会の花の苗つくり等協働によるまちづくり活動も盛んである。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 主に吉田総合支所管内在住の市民に対し、本庁の市民部、健康福祉部等で行っている事務の提供や、住民との協働によるまちづくり、吉田地域の特色を生かした地域づくりを推進することは、地方自治体として必要なことで妥当である。支所管内の市民に対する行政サービスの窓口として、総合支所を安全な状態に維持し、行政サービスの効率化を進められるようにする。具体的には、庁舎設備、警備や清掃、点検などの各種委託業務OA機器のリースなど効率よく事務が進められることも重要である。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 地域が広範なため、高齢化が進んでいる地区も多く、市民に密着した行政サービスは今後も必要とされる。行政事務については市で行う必要がある、市民と身近に接することの中から、信頼を築き、住民との協働によるまちづくりを推進していく必要がある。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述	
吉田地域は山間部に位置し、高齢化率が高い。また、吉田・大田地区には、路線バス、電車等が一部空白の地区があるため、住民の生活手段として吉田・大田地区乗合タクシーの運行は必要不可欠な事業である。平成24年度は、料金を一律500円に統一するとともに、目的地として泉田バス停及び小鹿野中央病院バイパス入口を追加し利便性の向上に努めた。タイ王国ヤソトンとの姉妹都市交流事業においては、平成24年度は、市長をはじめとする公式訪問団の派遣等、一層の充実が図れた。25年度は、交流20周年を向えることから、今後の交流について検討する必要があるが、県や国に協力を働きかけ、国際交流をより活発にしていこう。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急の実施可能な改善提案	<p>各事務事業の周知を図り、必要な利用者の増加を目指す。集会所・生活改善センター等については、段階的に施設の管理主体を地元自治会等に移行を進め、地域においてより利用しやすく、より丁寧な維持管理を実現するとともに、今後見込まれる維持管理経費の縮減を目指す。</p> <p>各事務事業については、広報やチラシによる周知をして利用者の増加を図った。また、桜井区コミュニティセンターについては、平成24年度から管理主体として桜井区が管理を行っている。</p>
短期的(1～2年以内)に実施可能な改善提案	<p>平成23年度から震災に伴い議会事務局が振興会館2階、3階に移転したことから、会館の有効活用は図られるものの一般の利用者は15,857人となり、平成23年度の24,686人と比較すると35.8%の減少となっている。今後は、議会として使用していない期間の周知するなど利用しやすい環境を整え、利用促進を図りたい。</p> <p>ミニデイサービス事業が協働によるまちづくり事業の中核事業の一つとなるよう、各種取り組みを行う。振興会館の維持管理については、総合支所も含めた相互的な節電対策を進めていく。太田部ミニデイサービスと吉田幼稚園の世代間交流を実施した。節電対策については、職員が一人ひとりが意識して細目にスイッチを切るなど、節電に努めた。</p>
中長期的(概ね3～5年)に実施可能な改善提案	<p>秩父吉田ヤソトン会等市民団体と協働による市民レベルの国際交流を促進し、ヤソトン市との姉妹都市交流事業を、市民による経済交流まで発展させる。やまなみ会館及び振興会館の設備等が老朽化してきており、必要な改修等実施しつつ適切な維持管理に努める。</p> <p>秩父吉田ヤソトン会等市民団体と協働による市民レベルの国際交流を促進し、市民による経済交流まで発展させる。やまなみ会館及び振興会館については、必要な改修等を実施しつつ適切な維持管理に努める。やまなみ会館の空調については、平成23年度に館内の会議室等を平成24年度にロビーの修繕を行った。</p>
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー	
既存の施設については、適切な維持管理の実施により、施設の長期使用を実現することで相対的に費用の縮減が図られるものと考えられる。さらに地域に誇りを持ち、共同によるまちづくりが一歩前進する。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	小松 伸也	電話番号 0494-72-6082
----------------------	-------	----------------------